

「みちのく潮風トレイル」を活用した高付加価値トレッキング事業

業務仕様書

（一社）東北観光推進機構

仕様書

1. 業務名

「みちのく潮風トレイル」を活用した高付加価値トレッキング事業

2. 目的

コロナ禍を経て世界的に持続可能な観光（サステナブルツーリズム）に対する配慮や意識が高まっている中、東北各地の豊富な地域資源を未来に継承していくためには、旅行者が自然・文化・歴史・産業等地域の本質を味わいながら、地域への貢献を実感できるコンテンツを造成するとともに、旅行者の観光行動による恩恵を地域の経済・社会・環境へ還元する好循環を加速していくことが重要である。

特にアドベンチャーツーリズムにおいては、旅行目的となるその地域の魅力そのものはもちろんのこと、旅行者が観光を通じて、地域の自然・社会環境のサステナビリティ、地域住民の雇用・所得向上に貢献できるかといった視点が重視されるなど、サステナブルツーリズムへの寄与度が高く、従来の旅行とは違った視点で構築された質の高い旅行プログラムが求められている。

そこで本事業は、東北地方におけるトレイルコンテンツを活用し、地域の自然・文化・歴史・産業等の地域資源の保全と活用の両立を推進するとともに、高付加価値なコンテンツを通じた旅行者の観光行動による恩恵を地域の経済・社会・環境へ還元し、地域の持続可能な観光の受入体制を強化していくことを目的とする。

3. 事業上限金額

金 15,000,000円（消費税及び地方消費税を含む）

4. 契約期間

契約日から 2025 年 1 月 31 日まで

5. 業務内容

東日本大震災後、2012 年に開始された 1,000KM の『みちのく潮風トレイル』は、青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸をつなぐロングトレイル。トレイルコース上にある各地域には、数多くの伝統芸能、郷食、アクティビティ、また震災遺構等が点在している。

これら独自のコンテンツをトレイルコースに組み込んだ上で本格的なロングコースから、短期間の滞在者向けのショートコースまで造成し、海外向けに販売。トレイルコースの付加価値を高めるとともに高付加価値なコンテンツを通じた旅行者の観光行動による恩恵を地域の経済・社会・環境へ還元し、地域の持続可能な観光の受入体制を強化する。なお、トレイルコースに関しては、2023 年度に開催されたアドベンチャートラベル・ワールドサミット（ATWS）北海道で実施された、プレサミットアドベンチャー（PSA）の東北コース（※）を参考にすること。

本事業は欧米豪市場を主なターゲット層とする。

(1) 高付加価値なコンテンツの磨き上げ・造成

①コンテンツの造成や訪日旅行者受入に關しての検討会を実施

- ・地域におけるコンテンツ事業者や宿泊施設等の関係事業者へ訪日旅行者の対応調査等を実施した上で、調査内容をフィードバックする検討会を1回開催する。
- ・地域の魅力を最大限に味わってもらうために、コース内の魅力的な景観地域において、ドローンを活用したコンテンツの造成も検討する。
- ・検討会で得られた内容を、今回の事業内で実施出来るものについては、実施する。

②地域の観光資源やコンテンツのブラッシュアップを実施

- ・「みちのく潮風トレイル」沿線上に点在した各地域のコンテンツを収集し、訪日旅行者にも対応できる内容に磨き上げを行う。
- ・訪日旅行者受入のための教育プログラムの受講等を通じて、地域の観光関係者、住民等に対してソフト面も含めた観光資源のブラッシュアップを実施する。
- ・モニターツアーを3回程度実施し、10名以上の参加者よりアンケートを回収する。なお、モニターツアーに關して1回以上ロングトレイルコースのモニターツアーを実施すること。
- ・アンケートに關しては、東北観光推進機構指示のもと、東北観光推進機構 CRM システム (TOHOKU Fan Club) を活用し実施すること。

③高付加価値コンテンツの造成

- ・(1)①・②をふまえ、高付加価値コンテンツを造成する。造成するコンテンツは、6泊7日程度のロングトレイルコンテンツを1コース以上、2泊3日程度のショートトレイルコンテンツを5コース以上造成すること。
- ・造成したコンテンツをタリフ化し、商品販売開始前に東北観光推進機構に提出すること。なお、タリフは日本語および英語にて作成のこと。
- ・旅行商品の Online Travel Agent (以下 OTA) 掲載に向けて、造成したコンテンツを OTA に掲載するための効果的登録方法を提案するとともに、登録を確実にすること。

④地域受け入れ態勢の検討

- ・みちのく潮風トレイル参加者の荷物を次の目的地まで運搬してくれる手ぶら観光のシステム、地域の受け入れについて検討する。

(2) 高付加価値コンテンツのプロモーションに關して

①特設ページの構築

- ・旅行事業者等のホームページ内や OTA のサイト内に造成した高付加価値コンテンツの特設ページを作成する。

②SNS 等を活用した情報発信

- ・SNS やホームページ等を活用し、「みちのく潮風トレイル」のプロモーションを実施する。
- ・あわせて、特設ページへの誘導を図る。

③現地海外での情報発信

- ・ターゲット市場において、旅行博出展、セールスコール、メディア対応など、BtoB および BtoC 向けに直接的かつ効果的な情報発信を実施する。
- 併せて、ランドオペレーター向け商品説明会(3回程度)を実施する。

6. 事業報告書の作成及び提出

- (1) コンテンツ商品販売開始前に、事業内容をまとめた中間報告書を作成し提出すること。
- (2) 2025 年 1 月 31 日までに下記を踏まえて事業報告書を提出すること。

成果物の内容として、事業の中で実施したすべての事業内容について、事業内容を実施している写真等（記録）、コンテンツタリフ等を報告書、それに付随する資料として提出すること。

- (3) 報告書は東北観光推進機構が自由に使用できるものとする。

7. 事業効果の把握に関すること

- ・本事業が、コンテンツの参加者に対しアンケート調査を実施(効果測定等の調査)しの誘客促進につながったことを具体的に把握できる成果指標の設定し、効果の測定を実施すること。
- ・また、アンケートは事務局指定の必須項目がありますので、必須項目を盛り込んだアンケートを実施すること。

アンケート調査票は、下記を参考にすること。

(ポータルサイト 資料一覧→事業完了後→調査・アンケート必須調査票)

8. その他

- (1) 受託者は、委託者と締結した「業務委託契約書」の各条項を遵守し業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、業務に要する機材および消耗品について準備すること。
- (3) 受託者は、当事業のルールを踏まえた上で、事業の実行をすること。
- (4) 受託者は、業務の各段階において業務の遂行について随時報告を行い委託者の了解を得ること。
- (5) 受託者が業務を遂行する上で必要な資料等は、受託者において入手すること。
- (6) 委託者が必要と判断した際には、受託者と協議を行った上で、本契約の内容を変更することができる。

以上